

農業委員募集に係る応募した者一覧表

氏名	職業	年齢(歳)	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者	応募理由	最適化推進委員への応募
					営農類型	耕作面積(a)			
小谷 史朗	農業	83	男	H15.6～ H27.6 大阪北部農業協同組合 理事 H17.7～ R5.7 豊能町農業委員会委員 R5.7～ 現在 豊能町農業委員会会長職務代理 H28.4～ 現在 豊能町直売所運営協議会会長	水稲	120	該当	豊能町における農業者として、また農業委員としてのこれまでの経験を活かし、地域農業の活性化に貢献できると考える。 さらに豊能町直売所「志野の里」の会長職や大阪北部農業協同組合理事職などの経験を踏まえ、地域の農業生産の実情を熟知していることから、農業委員会の活動にも活かすことができると考える。	なし
古谷 紀代子	農業	68	女	H29.7～ R5.7 豊能町農業委員会委員 R6.6～ 現在 豊能町直売所運営協議会 役員	水稲 露地野菜	50	非該当	地域の農産物を活用した加工品の生産・販売を行っており、地域農業や農家情報に精通している。上記の経験を踏まえて、担い手への農業集積や耕作放棄地への未然防止・解消等の農業委員会業務に貢献できる。	なし
和田 京	農業	49	男	H29.7～ 現在 豊能町農業委員会委員 R7.5～ 現在 有機栽培実践講座 講師	露地野菜 施設野菜	68	該当	豊能町に新規就農して11年が経過した。ここ数年でとよの就農支援塾などを通じ、新規で営農を始められる方は増えてきたが、定着した農地より離農となり遊休地となる農地が増えている現状を踏まえると、更なる新規就農者の呼び込みと定着率の向上が豊能町農業の課題の一つと考える。 また新規就農者を呼び込むためにも、耕作放棄地の未然防止や農地集約をすすめることも非常に重要と考える。新規就農者としての経験を活かし、豊能町の農業の発展へ貢献するために農業委員に応募する。	なし